

大船渡湾内観測結果(No.2)

“今月の話題”

湾内の水温は9～15℃台であり、例年よりも2℃ほど高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月よりも高く、水深10m付近では表層と比べて高い状況でした。

5月23日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

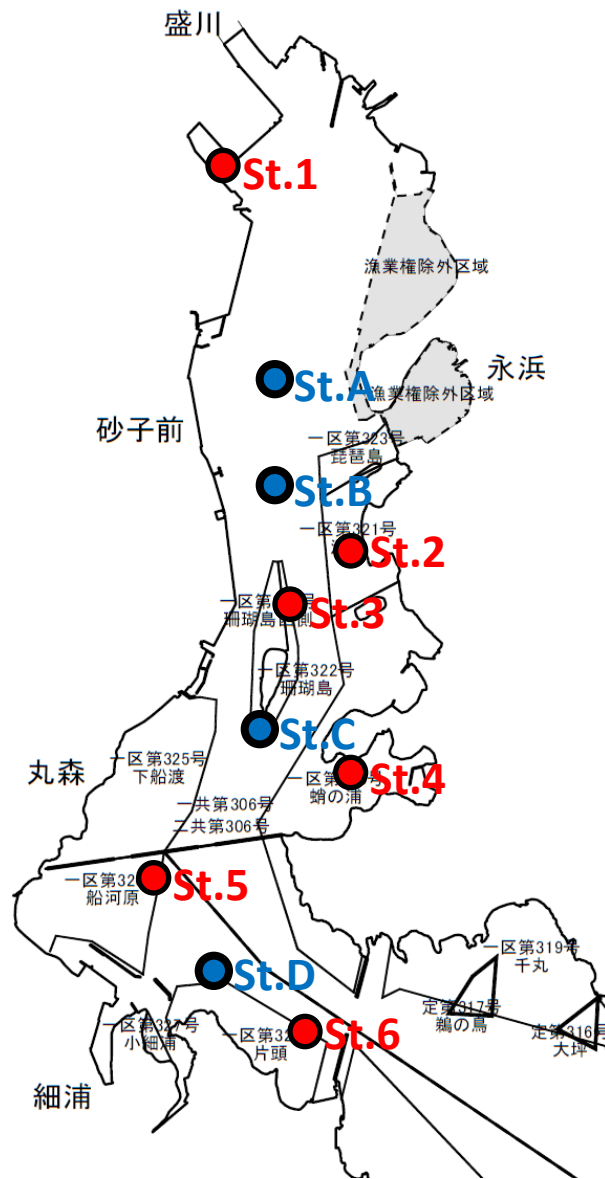
透明度は5.5～11.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-0.3～+4.2mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが11.6～13.0℃、水深10mが10.5～10.6℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+1.2～+2.0℃、水深10mが+1.6～+2.0℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年5月23日					
観測時刻		11:17	11:34	10:58	10:42	10:27	10:09
天候		晴					
気温(°C)		18.4					
風向		SSE					
風力		2					
水深(m)		8.8	24.6	27.2	19.1	25.0	37.7
透明度(m)		5.5	11.5	7.5	7.5	8.5	10.5
水色		6	4	5	5	5	5
水温(°C)	表層0m	15.3	14.9	15.1	15.5	14.8	14.2
	水深2.5m	13.0	12.5	12.3	12.6	12.1	11.6
	水深10m	-	10.6	10.6	10.5	10.6	10.5
	海底上1m	11.2	9.9	9.7	10.1	9.8	9.1
塩分	表層0m	24.2	27.8	26.9	29.3	26.7	26.8
	水深2.5m	32.2	32.9	32.8	33.0	32.8	33.2
	水深10m	-	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
	海底上1m	33.5	33.7	33.7	33.7	33.7	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	118.6	121.8	121.7	137.6	118.4	115.2
	水深2.5m	136.1	129.4	133.9	126.4	122.3	118.3
	水深10m	-	113.5	110.0	108.1	111.0	107.7
	海底上1m	124.3	95.2	80.4	96.0	83.1	62.7
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	1.7	0.9	0.9	1.6	1.1	0.9
	水深2.5m	2.8	0.7	1.1	0.9	1.2	1.2
	水深10m	-	2.1	2.0	2.4	1.7	1.7
	海底上1m	2.0	1.5	0.8	1.6	2.0	0.7



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

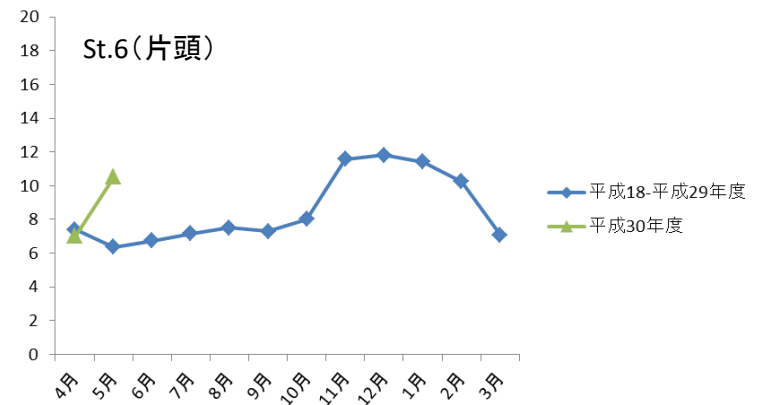
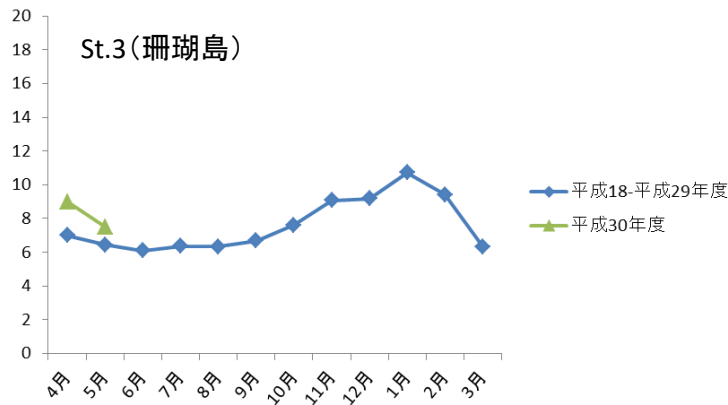
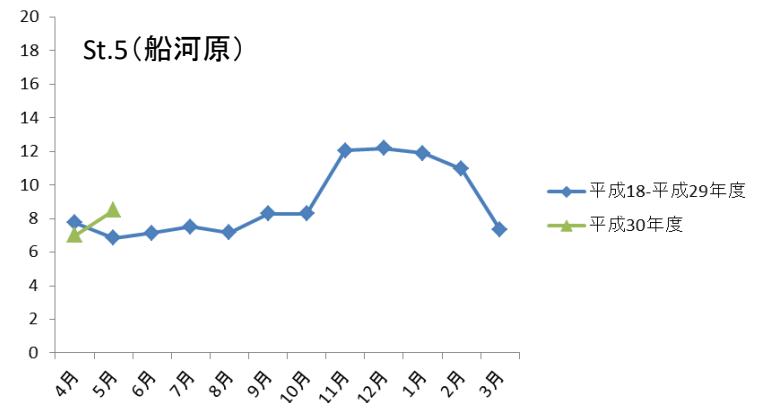
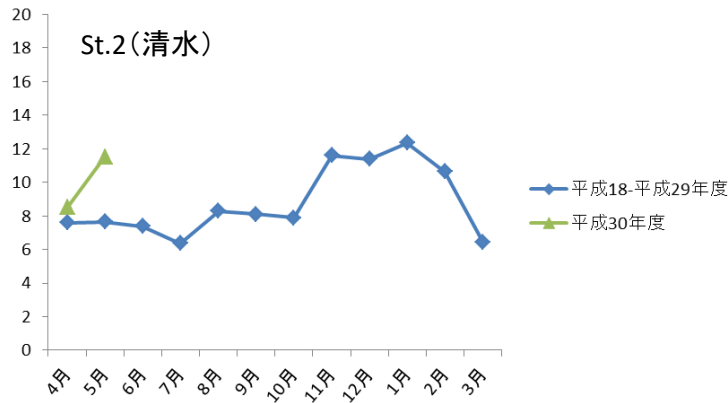
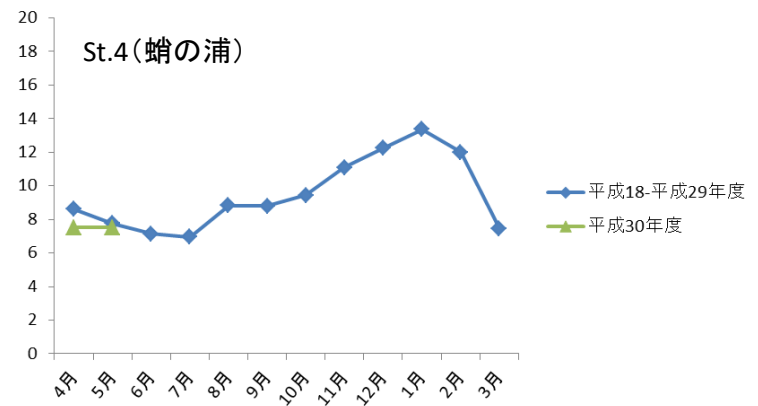
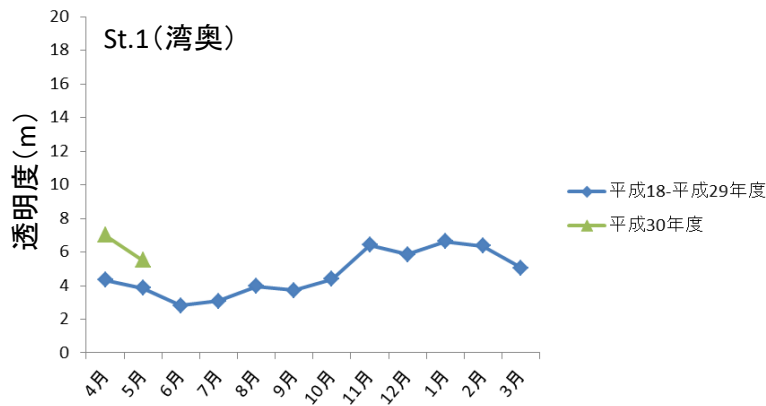


図2 透明度の推移

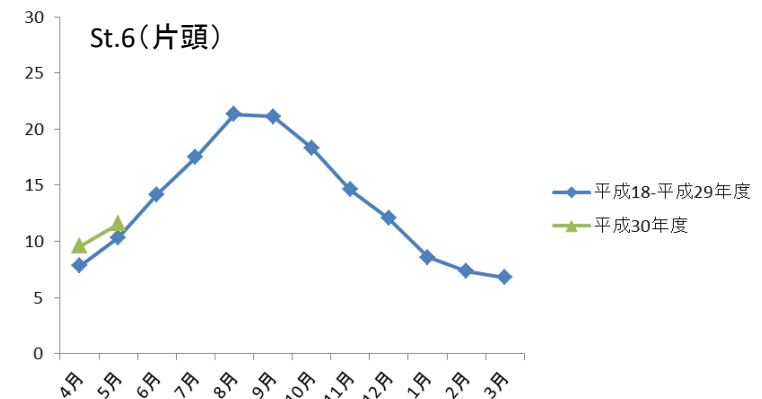
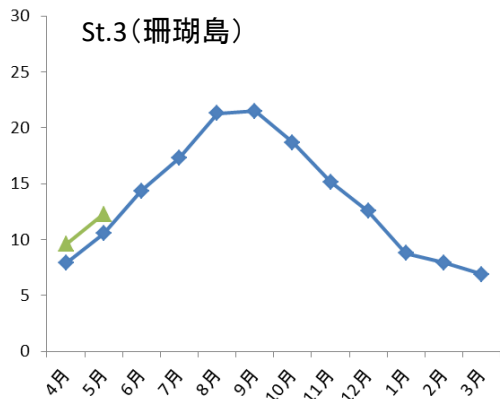
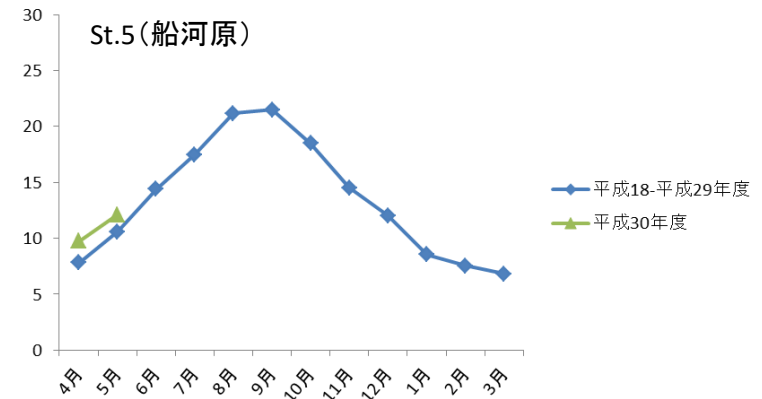
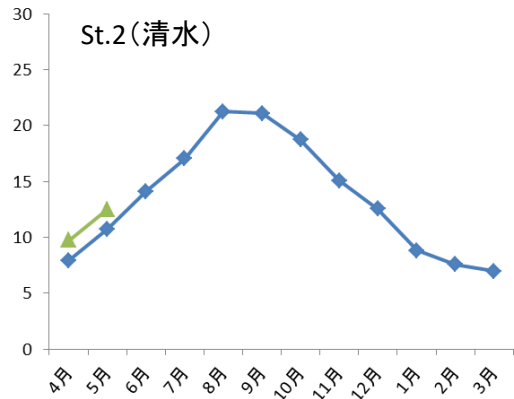
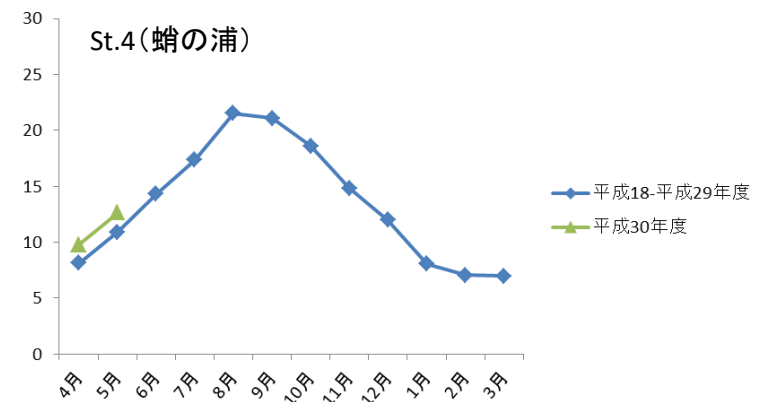
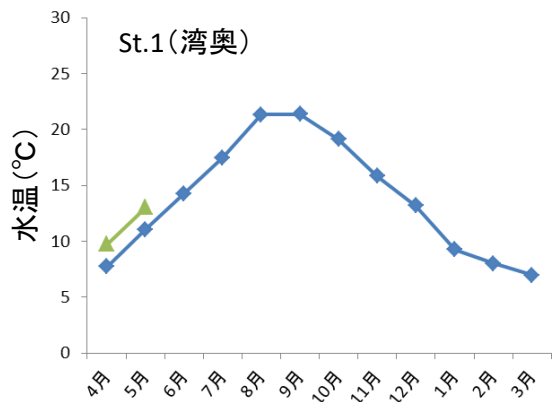


図3 水深2.5mの水温の推移

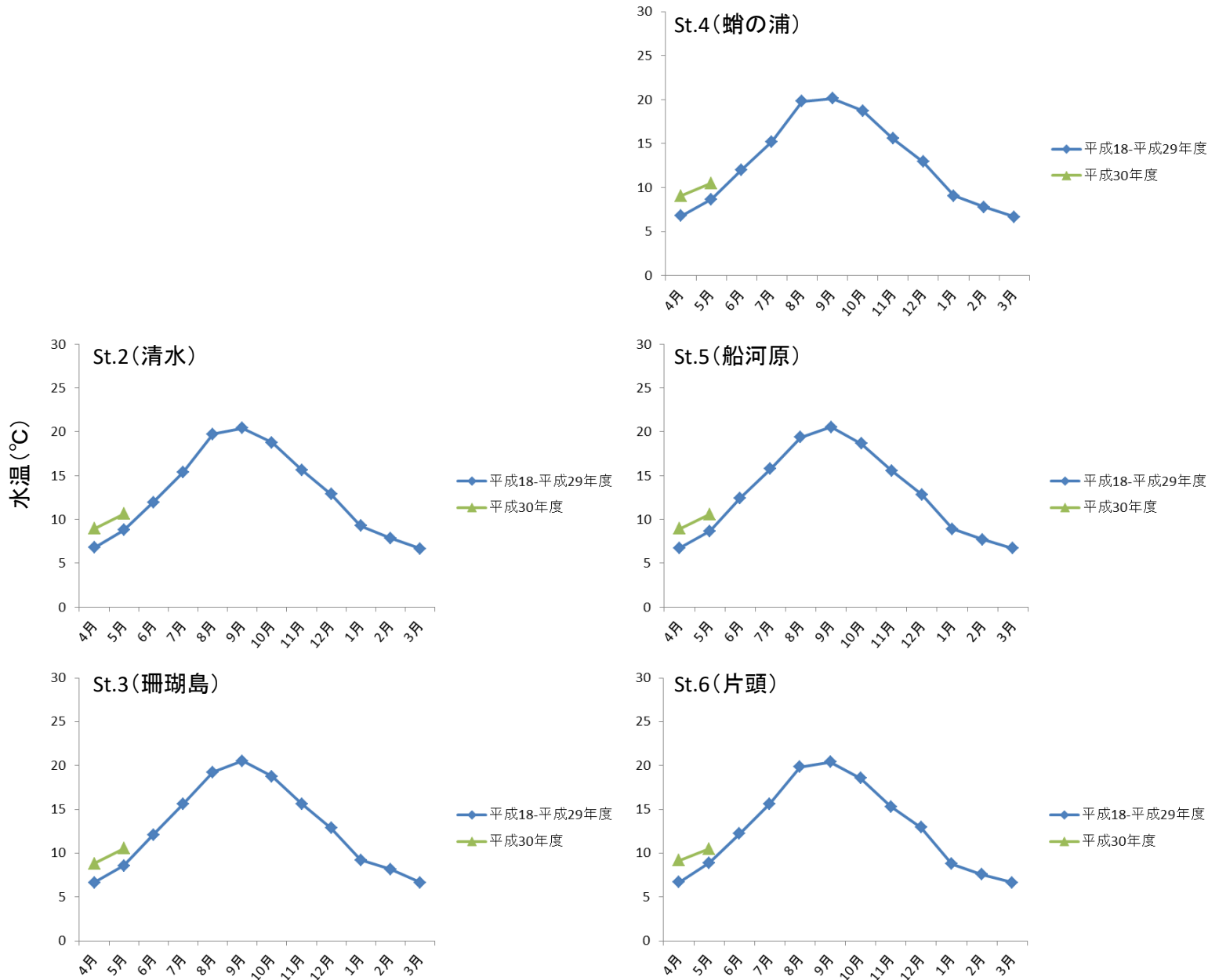
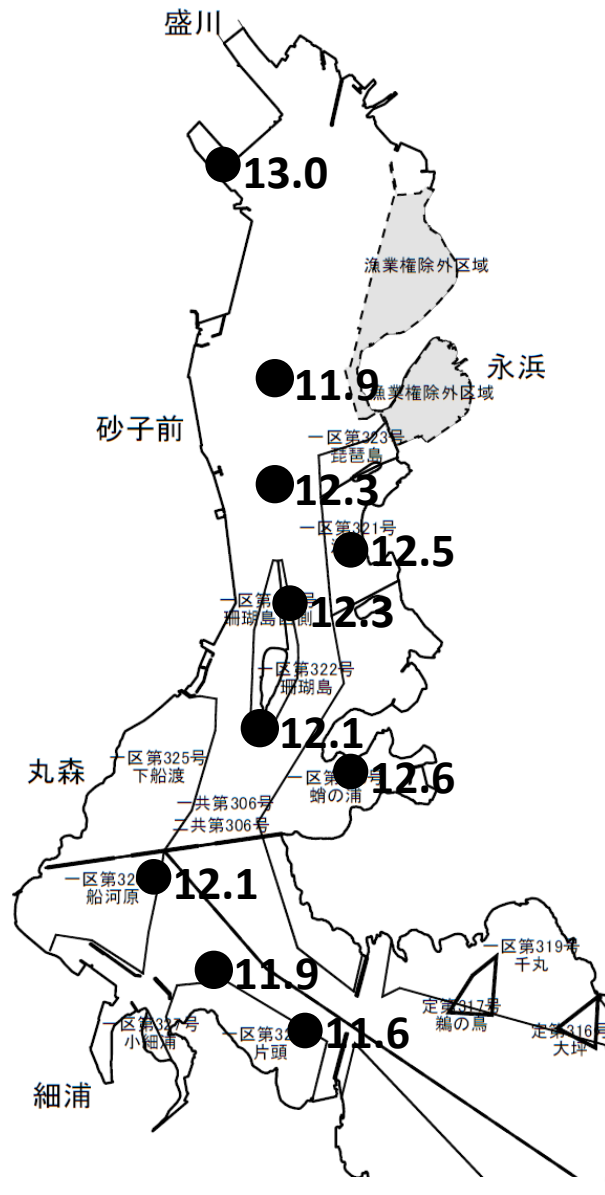


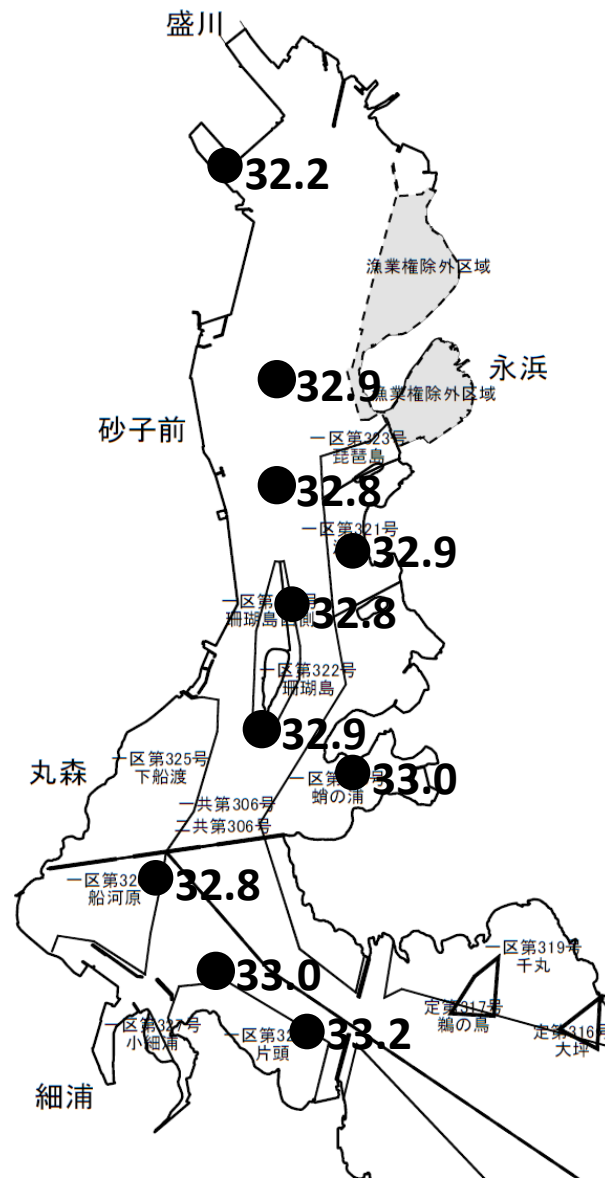
図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。



©岩手県（漁業権連絡図）

図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

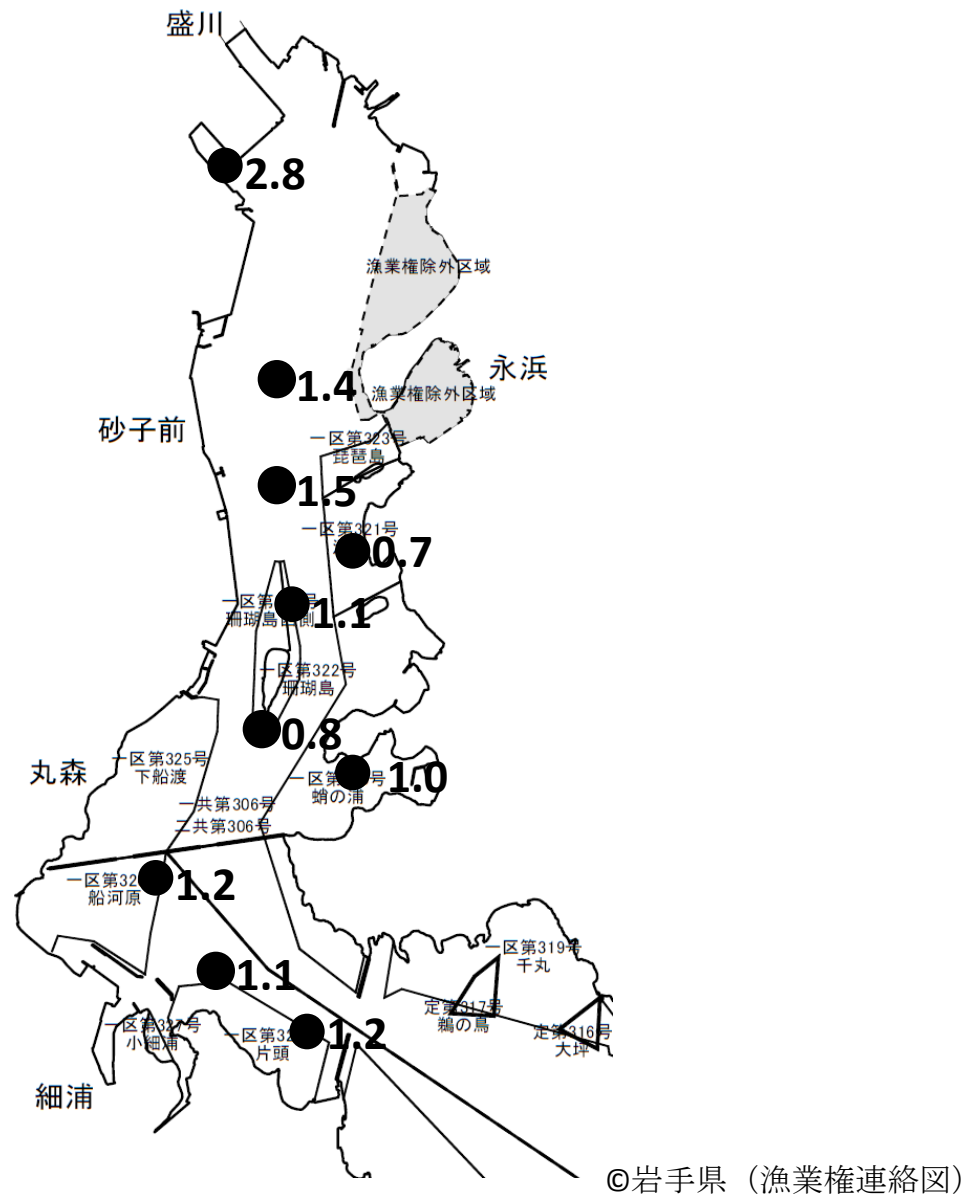


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。